

〔 横浜みなとみらいホール 〕  
 令和4年度業務報告及び収支決算  
 〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市中区山下町2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688 m <sup>2</sup>
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成10年2月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜みなとみらいホールの基本方針及び横浜市が進める「文化芸術創造都市」の施策に沿い、企画性が高く新しい視点を提供する事業展開によって国内有数のコンサートホールとしての独自の存在感を高めていきます。それと同時に音楽の持つ力によってもたらされる憧れや喜びを市民の方が最大限に享受し、夢を実現できる場所として愛されるコンサートホールであり続けることを大切にします。これまでの経験とノウハウも総動員しながら第3期の提案書に示した各使命を果たし、豊かな市民生活を支えるとともに、今後直面する様々な課題をも解決していくために、次の5つの方針で横浜みなとみらいホールの運営に取り組みます。

**方針1** あらゆる世代の市民が創造性を発揮し活力のある持続可能な社会を支えます

「演奏する」、「聴く」、「制作する」という立場の垣根を意識せず、柔軟に自由に音楽と接する機会を増やし、演奏家の創造性を高め、主体的に音楽を楽しむ市民の方を増やします。第三期指定管理期間は、演奏家が“ミュージシャン・プロデューサー”となって公演や事業を制作する取組を行っていきます。プロによる公演のほかに市民の方の利用率がとても高いことも当館の特徴です。指定期間を通じて、「制作する演奏家」と「演奏する市民」を応援し、増やしていくことで、年齢や性別、既成の立場に関係なく、心を柔軟にし、新しい発想を生み出す土壌を育み、活力ある社会の実現を目

指します

**方針 2** 次世代育成や社会包摂に対する取組をさらに発展させます

年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的な状況等に関わらず、誰もが心豊かに暮らせる社会を支えるために、音楽は大きな力を発揮します。当館では、これまでも障害のある方が参加する事業を積極的に行ってきましたが、これをインクルージョンという視点で、音楽の力をさらに活用し、さらに様々な立場の人々への取組に広がっていきます。

**方針 3** 困難な状況において音楽がいかに人々の心を支えていくものであるかを示します

感染症の影響によって、音楽活動だけでなく、人々とのふれあいによる心の安らぎが触まれることがないよう、市民の方が生の音楽に触れ、感受性や想像力を育む機会を作り出します。指定期間を通じて、小さな演奏規模のコンサートや臨場感のあるオンライン配信による音楽体験など、あらゆる工夫で臨機に対応できる運営を目指します。

**方針 4** 高い芸術性と創造性を発揮し街の魅力を発信するブランドとなります

住む人、働く人がこの街を誇りと感じられる価値と魅力を発信するブランドとしての信頼を形作り、国内外で高い評価を受ける演奏者が更に創造性を発揮する機会を作り、また、次世代を担う若者が公演の企画や運営を継続することで、高い芸術性と創造性が発揮されるコンサートホールとしての信頼を確立します。ユニークベニューとしてのMICE誘致への協力も含め、好循環を生み出すことを目指します。

**方針 5** 市民が生き抜く力を湧きたたせる精神的基盤となります

質の高い生の芸術が生み出される瞬間に立ち会い、そこでしか感じることでできない刺激に感性が触れることによって聴く力、観る力、感じる力が育まれます。横浜みなとみらいホールは、年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、このような経験によって、市民の方が生きる喜びを感じ、多様な価値観を得ることで、生き抜く力を湧きたたせる精神的基盤となります。

(2) 令和4年度の業務の方針

ア 全体について

令和4年度は第3期指定管理の初年度となるだけでなく、大規模改修工事で長くお待たせした市民の皆様、利用者の皆様と一緒にリニューアルオープンを祝う記念すべき年度でした。それに伴い新たに策定したコンセプト・スローガンのもと、事業、広報、運営、管理の各業務を有機的かつ強力に推進し、「横浜音祭り 2022」との相乗効果も意識した運営に全館を挙げて取り組みました。

休館中だからこそ実施できた横浜18区コンサートは横浜みなとみらいホールと市民との距離を縮め、新たなファンを創出しながらリニューアルオープンへの期待を盛り上げることに成功しました。リニューアルオープンから約1か月に亘って実施したオープニング記念公演の中には、集客で目標に届かない公演もあったものの、幅広い利用に向けたホールの可能性を示す多様なラインアップにより、愛されるホールとしての特徴をメッセージとして多くの市民、利用者の皆様

に届けました。

休館中にホテルを会場に実施した記者発表会には、例年以上の記者と関係者を集め、その後も広範囲への交通広告、インタビューや鼎談、記念冊子の作成、巨大バナーの掲出など、様々な方法を駆使しながら、目的、ターゲット、露出時期を戦略的に練った広報展開でリニューアルオープンに向けた祝祭感の醸成へと繋げていきました。

さらに、横浜みなとみらいホールのサービスを支えるレセプションの募集と採用を行ったほか、顧客サービス向上と業務の効率化を両立する仕組みとして、音楽練習室のウェブサイト上での申し込み受付を軌道に乗せたことも大きな成果でした。

一方で、長期改修工事後に改善が必要となっている設備関係の課題につきましては、引き続き横浜市と協議しながら早期の解決に努めます。

#### イ 使命1 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となります。

リニューアルオープン記念事業と「横浜音祭り 2022」を中心に据え、多彩で鮮度の高い充実のラインナップで、来場者からは高い満足度を頂きました。また、初代プロデューサー藤木大地の発案により、教育機関との連携・全国音楽事業者とのネットワーキングという2本柱を掲げ、音楽大学学生による新作オペラ上演、みなとみらい発で各都市を巡る室内楽公演の始動など、創造・創作の拠点としての姿を発信しました。

さらに、リニューアルオープンを機に歴史を積み重ねてきた伝統ある事業の見直し・価値再構築も行いました。「ジルヴェスターコンサート」に変わる公演では石田組を起用。次世代育成要素に加え、公演前後に街を楽しむという大晦日の楽しみ方も提案しました。また、「オルガン・1 ドルコンサート」の再構築に加え、オルガン音楽をもっと楽しみたい層への「オルガン・1 アワーコンサート」新設など、時代のニーズを捉え、新しい切り口から市民が音楽に親しめるよう工夫しました。

#### ウ 使命2 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。

リニューアルオープンに際してプロオーケストラをはじめとした質の高い公演を協力公演として誘致し、当館発コンテンツとして新たな顧客制度「ウェブフレンズ」登録者に対して当該公演の先行チケット予約サービスを実施するなど PR に寄与しました。再開館を機に発生した改修工事に起因するスプリンクラー事故など設備不具合については、利用団体に対して丁寧に状況を説明し、快適に、安全にご利用いただけるよう努めました。

#### エ 使命3 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。

本年度も音楽をつなぐ人・楽しむ人・演奏する人の多様な角度から、次代を担う人材育成を行い、音楽に親しむ市民の裾野拡大を推進しました。

音楽と社会をつなぐ次代を担う人材育成として、本年度も“中学生プロデューサー”が「こどもの日コンサート」で主体的に公演制作に携わりました。さらに、希望する中学生は日本最大級の音楽祭「横浜音祭り 2022」にも活躍の場を広げ、異なる世代のプロフェッショナルとの交流体験を深めました。

また、リニューアルオープン期間では、横浜市在住・在学の中高生たちへ海外一流オーケストラの公演「アンドリス・ネルソンス指揮 ボストン交響楽団」の公開リハーサルを実施しました。オーケストラや演奏曲目について解説した鑑賞ガイドを作成し700人を超える中高生に配布。極上の音楽をより楽しめるよう、分かりやすさ・親しみやすさにもこだわりました。リニューアル後は「心の教育ふれあいコンサート」で、2万6千人を超える市内小学生が神奈川フィルによるオーケストラやパイプオルガンが奏でる生のクラシック音楽に触れる楽しみを届けました。

音楽を演奏する次代の人材育成では、「みなとみらい Super Big Band」が結成10周年を迎え、各地域での演奏活動など年々活動の幅を広げています。オルガン事業でも、本年度から2代目ホールオルガニストに就任した近藤岳による、次世代育成プログラムを始動。横浜の文化資源ともいえるオルガンに触れ・演奏機会をつくる目的で、高校生以下の10代を対象とした「10代のためのオルガンレッスン」をスタート。練習成果を大ホールのパイプオルガン・ルーシーで披露しました。更に、吹奏楽発祥の地として、プロ奏者が市内中学校吹奏楽部の子どもたちに直接指導し、発表機会を設けた「吹奏楽部応援プロジェクト！」も開催。ともに音楽を奏でる喜びとプロフェッショナルの音楽を間近で体験できる特別な機会を提供しました。

オ 使命4 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出します。

ホールの企画力や各機関との連携推進、デジタル技術を活かし、あらゆる人達が音楽に触れる機会創出を図りました。特に、リニューアルオープンと「横浜音祭り2022」が重なる期間に開催し、多くの注目を集めた「ミュージック・イン・ザ・ダーク」は、障害の有無に関わらず暗闇のなかでインクルーシブに音楽を享受することで、障害について・音楽について深く考えるきっかけになりました。また、「心の教育ふれあいコンサート」・「無人オーケストラコンサート」は特別支援学校を招いて実施。さらに高齢者のウェルビーイングとピアノ演奏の関係を検証する「だれでもピアノ体験会」を試行し、次年度以降の本格実施に向けて準備を進めました。

カ 使命5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。

大小ホールの利用について、再開館にあたって変更した点を取りまとめ利用申請者へ送付するとともに事前に公式ウェブサイトで周知しました。特に運営方法を大きく変更した小ホールについては貸館利用者との打合せでは変更点の丁寧なご説明を心がけました。8月からは音楽練習室のインターネット予約を開始し受付事務の効率化を実現しました。インターネット予約の登録者数も順調に増加しています。

また、「音楽を奏でる街」として都市のブランディング確立を目指す横浜みなとみらい21が設置した「ミュージックシティ推進委員会」に参画、エリア一体で今後の展開を協議しました。

キ 使命6 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンスの向上を図ります。

休館中に定めたコンセプト・スローガンや新規構築した公式Webサイト活用、「横浜音祭り2022」と連携した街なかPR、プレス懇談会開催等により、ホールのリニューアルオープンのみならず、

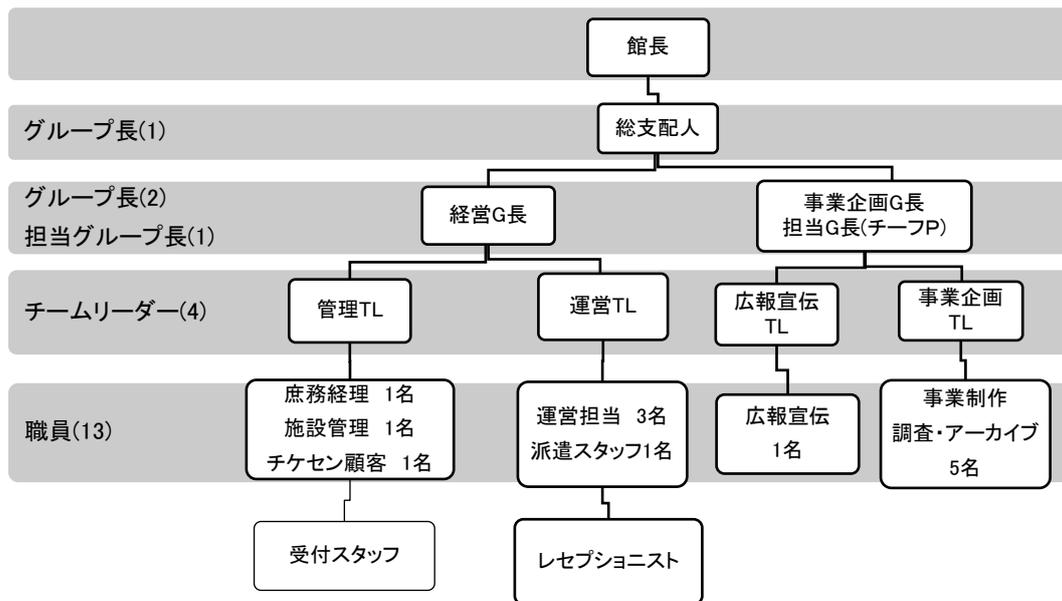
今後の取組みや目指す姿についても発信しました。特に、SNS は戦略的かつ計画的に活発な発信を行い、目標を上回るフォロワーを獲得。日頃からメディアとの関係構築も積極的に行い、プレス懇談会後の多方面への掲載につなげました。また、ミュージックシティ構想に参画する唯一のクラシック音楽専門ホールとして、エリア内でも一定のプレゼンスを発揮しました。

ク 使命7 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続します。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続します。

リニューアルオープンにあたって来場者用の消毒液やサインの設置、大小ホール入口にはサーマルカメラを設置するなど市ガイドラインに沿って徹底した予防対策を講じました。ホール利用者、音楽練習室の利用者には当日チェックリストを用意し水際対策に努めました。再開館後段階的にガイドラインが緩和される中、12月からは大ホールのクロークを再開。国が主導する緩和方針にも速やかに対応できるよう準備しています。

新たな公式Webサイトのスタート、これまで蓄積した事業コンテンツのデジタル上での有効活用等により、情報拡散力の強化と事業効果の拡張を図りました。

#### 4 運営組織の構造、人員配置



芸術監督としての館長の指示命令を受けて発信力を高めるために、事業企画グループに広報チームを位置づけ、事業制作力と広報発信力のスキルを高め企画力を強化しました。

再開館に向けてチケットセンター、レセプションист、受付スタッフなどホール運営を支えるスタッフを配置し経営グループで統括管理しています。

#### 5 令和4年度の業務の取組

##### (1) 文化事業

リニューアルオープン前は、「横浜 18 区コンサート」「パイプオルガンと横浜の街」など市域を巡る事業を実施し、横浜みなとみらいホールならではの音楽や横浜ゆかりの音楽を市民にお届けし、リニューアルオープンへの期待感醸成に努めました。

1ヶ月にわたって実施したリニューアルオープン記念事業については、「横浜音祭り 2022」との相乗効果も図った結果、国内有数のクラシック音楽専門ホールとして独自の存在感を発揮しました。地元オーケストラ・神奈川フィルによる壮大な音楽での柿落とし、藤木プロデューサーによる企画公演、世界の一流アーティストによる公演、社会包摂事業や次世代育成事業など、多彩かつ鮮度の高い切り口によるラインナップで、何れの公演もお客様から高い満足度を頂きました。

また、歴史を積み重ねてきた事業の見直し・新シリーズ立ち上げ、次世代育成の拡充、大学医学部との連携による実証実験の始動、地域との連携事業も積極的に実施。市内唯一のコンサートホールとして、音楽が持つ力を広く市民が享受できるような環境づくりにも努めました。

## (2) 施設運営

ホールのリニューアルオープンに際して施設運営の立ち上げと利用提供に取り組みました。舞台業務、警備業務を専門会社に委託するとともに 80 名を超えるレセプションистを広く募集し研修など必要な準備を進めました。コンサートピアノを保管先から適切に移動するとともに最良の状態となるよう調整を行いました。パイプオルガンについては設置後はじめてのオーバーホールが実施されましたが、実際の演奏を行う前に整音に必要となる時間を費やしました。

## (3) 施設管理

大規模改修工事後のリニューアルオープンに際して各公演が最適な空間で音楽を奏でることができるよう、施設設備の更新状況の把握と適切な維持管理を心がけました。また下記の通り、改修工事に起因する施設の様々な不具合に対応し、利用者と来場者のためコンサートホールとしての快適空間の維持に努めました。

- ・大ホール落下防止用ネット切り落とし個所養生施工
- ・館内各所のサイン更新
- ・大ホール下手の自動ドアタッチパネル設置
- ・エレベーター5号・6号機の押しボタン制御方法変更
- ・大ホール 2F 客席ホワイエドリンクコーナーのシンク位置交換 など

## (4) 収支

リニューアルオープンを機に打ち出した積極的な広報プロモーションと顧客戦略、丁寧な利用者サービスにより、事業収入と利用料金収入が見込みを上回り収入アップにつながりました。このため価格高騰による光熱水費の赤字を補填する結果となりました。

## (5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

横浜市から示された書式に則り、定められた期限に業務計画書、業務報告書、自己評価表を提出しました。

## (6) その他

施設の引渡し後速やかに PLOT48 からホール事務所内への移転を実施しました。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となります。

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	ホール における ジャンル別 の公演 回数及 び入場 者数	公演数							
			クラシカル	35	27本	—	—	—	31本
		ポピュラー	3	2本	—	—	—	2本	—
	入場者数								
		クラシカル	21,230	32,000 人				40,000 人	
		ポピュラー	2,514	2,500 人				3,000 人	
2	横浜みなとみらいホールなら ではの企画数		12	10	—	—	—	12	—
3 ★	プロデューサー・イン・レジ デンス事業		4	6事業 (累計)	—	—	—	15事業 (累計)	—
4 ★	新作委嘱作品と過去委嘱作品 再演本数		4	4作品 (累計)	—	—	—	10作品 (累計)	—
5 ★	おとなポップス公演数		0	2企画 (累計)	—	—	—	10企画 (累計)	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	横浜みなと みらいホー ルの事業モ ニター(※) による評価	R 4 実績	リニューアル記念事業3公演で事業モニター実施 (10/29 神奈川フィルハーモニー管弦楽団、11/3 井上道義 指揮 NHK 交響楽団、11/25 近藤岳オルガンリサイタル)
		R 5 達成指標	4つの事業に対し、事業モニター実施(リニューアルオー プン事業(2022年のみ)、おとなポップス、オルガンコン サート・シリーズ、ジルヴェスターコンサート、クラシッ ク公演(2023年以降))
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	モニタリングの結果、対応すべき事柄について事業に反映 されている
		R 8 実績	—

2	横浜みなと みらいホー ルの事業等 のアーカイ ブ作成と公 開	R 4 実績	アーカイブ立ち上げに向けた準備、資料整理
		R 5 達成指標	アーカイブの立ち上げ
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アーカイブ更新・運用（定期的に映像公開）
		R 8 実績	—

#### ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

本年度は、リニューアルオープン・ラインナップ及び「横浜音祭り 2022」を使命1の中核事業におきました。リニューアルオープン前は、「こどもの日コンサート」、「横浜18区コンサート」、「パイプオルガンと横浜の街」など、市内各地域から「横浜音祭り」を盛り上げるとともに、リニューアルオープンの期待感を持っていただき、リニューアルオープンでは、大編成での地元・神奈川フィルハーモニー管弦楽の演奏から始まり、「横浜音祭り 2022」のクロージングでの「反田恭平×Japan National Orchestra」公演や、国内外のオーケストラ、アーティストの演奏会など祝祭感や話題性のあるラインナップで、多くの方々にホールのリニューアルを周知できるよう、1ヶ月にわたってリニューアル記念事業を実施しました。また、ミュージシャン・プロデューサーの新たな視点を企画に活かす、「プロデューサーinレジデンス」では、初代プロデューサーの藤木大地の提案や企画を取り入れ、より魅力的なクラシック公演や、学生とともにつくるコンサートなど、これまでとは異なる切り口の事業を展開しました。

さらに、これまで積み重ねてきた独自性の高い歴史ある事業については、ホールのリニューアルを機に、再構築を行いました。年末の「ジルヴェスターコンサート」に変えて、横浜みなとみらいホールから生まれた「石田組」を起用し、石田組ジュニア（音楽家を志す7人の子どもたち）との共演を盛り込むなど、次世代育成の要素を組み込みました。新しく就任したホールオルガニスト・近藤岳のもと、オルガン事業にも新たな展開が始まり、開館以来継続してきた気軽に楽しめる「オルガン・1ドルコンサート」は継続しながらも、もう少しじっくりパイプオルガンを聴いてみたい方へ「オルガン・1アワーコンサート」を新たに始動し、他のオルガン事業にもつなげるものとなりました。

#### (2) 使命2 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動を提供する。

##### ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	大ホール (日単位)	100%	97%	—	—	—	97%	—
	小ホール (日単位)	98%	97%				98%	
	リハーサル室	81%	68%				71%	

		(日単位)						
		音楽練習室 (コマ単位)	60%	82%			85%	
		レセプション ルーム (コマ単位)	33%	35%			40%	
2	プロフェッショナルのオーケストラ、アーティストの指定管理者以外の公演数	81	90				100	
3 ★	利用下見・相談件数	55 件	150 件	—	—	—	150 件	—
4 ★	利用者アンケートによる満足度 (5点満点)	ホール 4.8 練習室 4.3	4.7 以上	—	—	—	4.7 以上	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		R 4 実績	実施なし
1	市内音楽団体の活動状況把握	R 5 達成指標	市内音楽団体リスト整備・運用
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	リスト更新とともにホール利用時の助言等に生かす
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

国内プロオーケストラをはじめとした音楽団体に対して公演運営が適切に実施できるよう、施設と設備のリニューアルに関する情報を公式 HP で周知しました。利用手続きについても運営に関するマニュアルを整備して利用者の公演運営をサポートしました。

(3) 使命3 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げる。

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	子ども（高校生以下）の来館者数	27,797 人	主催公演 35,000 人	—	—	—	主催公演 40,000 人	—
2	初めて横浜みなとみらいホールを訪れた人の割合（世代別、アンケート結果）	20.3%	全世代 20%	—	—	—	全世代 20%	—
3 ★	こどもの日コンサートの企画に参加した中学生の人数	27人	30人 (累計)	—	—	—	40人 (累計)	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもの頃や若手の頃に横浜みなとみらいホールで活動を行い、横浜みなとみらいホールから活躍の場を広げていったアーティストの状況把握	R 4 実績	調査
		R 5 達成指標	アーティストリスト作成
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	リスト更新・主催事業への起用
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

「こどもの日コンサート」中学生プロデューサーの取組みも2年目となりましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で、当日の活動ができなかったため、今年度は企画や構成、広報のほか、当日の舞台技術やレセプション業務に至るまで、事業制作のすべてに携わっていただき、また「横浜音祭り2022」の事業にも一部携わり、中学生たちにとって非常に充実した経験となりました。また、「ボストン交響楽団」の公演では、中高生を公開リハーサルに招待し、多くの中高生に世界のトップクラスのオーケストラの演奏や音楽づくりの様子に間近で触れていただくことができました。

さらに、「心の教育ふれあいコンサート」も10日間20公演を実施。長期休館に入る直近の同事業では、新型コロナウイルスの影響で、保護者の方や一般の方の来場は叶いませんでしたが、3年ぶりに保護者や一般の方を含む幅広い世代の方が同じ空間でクラシックの生演奏を体験いただくことができました。

2013年に誕生した「みなとみらい Super Big Band」も結成10年を迎えることとなり、横須賀での演奏会やクイーンズスクエアのイベント出演など、活動の幅を年々広げているほか、3月の定期公演では、既にプロとして活躍したり、音楽大学でジャズを続けていたりするOB・OGたちによる演奏も組み込み、これまでの活動が今後さらに発展していくことが見えるものとなりました。

- (4) 使命4 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人たちが音楽に触れる機会を創出する。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	社会包摂の実現を目指す事業数	3	5 事業	—	—	—	5 事業	—
2	学校等へのアウトリーチの実施数	5	5 事業	—	—	—	5 事業	—
★ 3	特別支援学校との協働プロジェクト数	1	2 件				2 件	
★ 4	支援学級との協働プロジェクト数	1	4 件	—	—	—	4 件	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	あらゆる方に音楽に触れてもらうためのノウハウの蓄積	R 4 実績	これまでの取組整理
		R 5 達成指標	マニュアル作成
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	マニュアル更新
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

「横浜音祭り 2022」期間には、「ミュージック・イン・ザ・ダーク」を実施。視覚障がいのある演奏家と視覚障がいのない演奏家によるアンサンブルの演奏や、来場者にも視覚に障がいのある方が多数来場し、ホール内の照明をすべて消した暗闇の中で音楽そのものを享受する内容となりました。「だれでもピアノ」では、次年度に実施予定である“高齢者のウェルビーイングのためにピアノを弾くという体験が前向きな感性に与える影響についての調査”のプレイベントとして、シニア体験会を実施し、今後の展開につながりました。

さらに「心の教育ふれあいコンサート」「無人オーケストラ」への特別支援学校の来場や、学校アウトリーチでの個別支援級でのプログラムなど、あらゆる人たちが音楽に触れる機会を子どもたちも含め提供することができました。

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、継続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献する。

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施率	100%	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	104%	90%	—	—	—	90%	—
4 ★	施設・設備の更新状況を把握し、事業継続計画策定	危機管理マニュアル作成	危機管理マニュアル再整備				危機管理マニュアル検証	
	災害マニュアルに則った災害訓練	2回 ※仮事務所で1回、ホールで1回	2回				2回	
5 ★	地域における連携先の開拓(施設、企業)	4件	1件 (累計)				5件 (累計)	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング (アンケート調査、インタビュー調査の実施)	R 4 実績	アンケート実施
		R 5 達成指標	利用者懇談会など実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリングで得られた要望のうち必要と判断される案件に対し迅速に対応できている
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	工事後の光熱水費について状況確認
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	総括
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

再開館にあたって実施するホール運営の変更点を分かりやすくまとめて公式ウェブサイトに掲載しました。利用者との打合せでも変更点を伝えています。8月から開始した音楽練習室のインターネット予約もご利用方法に関する情報を周知し、スムーズにご利用いただいています。(アンケート結果 利用満足度 ホール4.8 練習室4.3)

「音楽を奏でる街」として都市のブランディング確立を目指す横浜みなとみらい21が設置する、「みなとみらい21ミュージックシティ推進委員会」に参画し、今後の方向性について協議を進めました。

(6) 使命6 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンスの向上を図る。

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	SNSフォロワー数	11,372	8,000	—	—	—	10,000	—
2 ★	大規模改修工事期間の18区コンサート開催と有料入場者数 2,000人	R3・4年度で全18区の会場で実施／ 3,322人 (R3: 1,598人 ／R4: 1,724人)	—	—	—	—	—	—
3 ★	大規模改修工事期間のウェブ会員新規登録者数 既存登録者数の10%以上	約21%増	前年比3.5%増 (600人増)	—	—	—	R4年度比17%増 (会員数2万人)	—

※2・3については、R4実績をもとに目標設定予定

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	リニューアルオープンに際してのウェブサイトでのアピール	R 4 実績	実施（ウェブサイト更新）
		R 5 達成指標	実施（ウェブサイト更新）
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続
		R 8 実績	—
2	横浜みなとみらいホールに関するコメントの把握	R 4 実績	把握
		R 5 達成指標	把握
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	総括
		R 8 実績	—
3	リニューアルオープンに向けてのスタッフ育成	R 4 実績	レセプションист採用研修、フォローアップ研修実施
		R 5 達成指標	研修実施等
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	—
		R 8 実績	—

ウ 使命6を達成するために重点的に取り組む事項

大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールらしいホールのプレゼンス向上を図るため、横浜ゆかりのソリストと室内楽編成による「横浜18区コンサート」を横浜みなとみらいホールの出張コンサートとして市民の方に身近な8つの会場で実施し、昨年度の10会場と合わせ、横浜市内18区で音楽を届けることができました。横浜みなとみらいホールの周知にもつなげる事業であるとともに、市民の方々が身近な地域を知ることにもつながるものとなりました。

また、新たな公式ウェブサイトと会費無料の登録制ウェブ会員制度「ウェブフレンズ」を発足させ、情報拡散と販売の強化を図るとともに、地域のホテル等と連携する等、魅力的な会員特典の提供に努めました。

## 令和4年度 「横浜みなとみらいホール」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	505,794,000	0	505,794,000	505,794,000	0	横浜市より
通常運営費	473,068,000		473,068,000	473,068,000	0	
大規模改修(移転関係等)	32,726,000		32,726,000	32,726,000	0	仮事務所(PLOT 48)運営費、事務所移転費用
市受託料収入	20,090,000		20,090,000	20,046,480	43,520	心の教育ふれあいコンサート
利用料金収入	87,000,000		87,000,000	94,556,666	△7,556,666	令和4年11月、施設貸し出し再開
自主事業収入	168,536,000		168,536,000	142,856,038	25,679,962	
自主事業収入	98,236,000		98,236,000	72,202,558	26,033,442	
市負担金収入(アクション)	70,300,000		70,300,000	70,653,480	△353,480	アクション事業、学校プログラム
事務局繰入金収入	22,000,000		22,000,000	22,000,000	0	リニューアルオープンに向けた広報事業等
雑入	18,950,000	0	18,950,000	24,292,255	△5,342,255	
印刷代	60,000		60,000	4,630	55,370	利用者コピー代
自動販売機手数料	300,000		300,000	317,726	△17,726	10月より自動販売機設置
協賛金・助成金・寄付金	16,000,000		16,000,000	22,022,000	△6,022,000	企業協賛金及び助成金
その他(ゴミ処理代など)	2,590,000		2,590,000	1,947,899	642,101	利用者ゴミ処理代、受託チケット販売収入など
収入合計	822,370,000	0	822,370,000	809,545,439	12,824,561	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	226,810,000	0	226,810,000	217,152,340	9,657,660	
給与・賃金	187,771,000		187,771,000	179,053,322	8,717,678	事務室およびチケットセンタースタッフ、レセプションリスト
社会保険料	22,251,000		22,251,000	22,987,272	△736,272	
通勤手当	10,443,000		10,443,000	9,480,194	962,806	
健康診断費	214,000		214,000	187,871	26,129	
勤労者福祉共済掛金	117,000		117,000	114,000	3,000	
退職給付引当金繰入額	6,014,000		6,014,000	5,329,681	684,319	
事務費	34,452,000	0	34,452,000	42,195,734	△7,743,734	
旅費	567,000		567,000	647,212	△80,212	
消耗品費	2,135,000		2,135,000	3,385,326	△1,250,326	施設消耗品、舞台消耗品、衛生用紙類、印刷消耗品等
会議賄い費	30,000		30,000	22,782	7,218	来客用お茶、打合せ時飲み物代など
印刷製本費	275,000		275,000	1,256,110	△981,110	施設案内、様式類、ロゴ入り封筒など印刷費
通信費	1,158,000		1,158,000	1,363,272	△205,272	
使用料及び賃借料	8,929,000	0	8,929,000	6,542,604	2,386,396	
横浜市への支払分	96,000		96,000	57,042	38,958	横浜市目的外使用料(ドリンクコーナー)
その他	8,833,000		8,833,000	6,485,562	2,347,438	各種賃借契約費用(B1F駐車場等)
備品購入費	1,100,000		1,100,000	9,795,919	△8,695,919	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	72,000		72,000	122,960	△50,960	保険掛金
委託費	13,613,000		13,613,000	15,298,810	△1,685,810	施設予約システム、チケット発券システムの維持管理、託児サービス委託など
職員等研修費	34,000		34,000	6,800	27,200	
振込手数料	360,000		360,000	438,350	△78,350	
リース料	1,793,000		1,793,000	1,646,372	146,628	事務機器リース料
広報宣伝費	320,000		320,000	16,032	303,968	再開館関連の広報費は事業費-広報関連に計上
手数料	3,742,000		3,742,000	1,234,201	2,507,799	クレジットカード決済手数料、廃棄物処理費等
地域協力費	324,000		324,000	418,984	△94,984	QSYイベント実行委員会負担金等
事業費	227,324,000	0	227,324,000	187,511,331	39,812,669	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	22,644,000		22,644,000	22,445,750	198,250	心の教育ふれあいコンサートの費用(出演料他)
自主事業費(アクション)	0		0	117,020,021	△117,020,021	
自主事業費	176,970,000		176,970,000	20,271,172	156,698,828	
広報関係	27,710,000		27,710,000	27,774,388	△64,388	個別事業以外の、プレス発表会開催など、リニューアルオープン広報、施設広報のための費用
管理費	214,755,000	0	214,755,000	224,567,087	△9,812,087	
光熱水費	62,279,000	0	62,279,000	75,479,885	△13,200,885	
電気料金	13,000,000		13,000,000	25,372,845	△12,372,845	従量単価の高騰などによる
冷温水料金	42,079,000		42,079,000	47,134,347	△5,055,347	従量単価の高騰などによる
水道料金	7,200,000		7,200,000	2,972,693	4,227,307	節水型トイレの採用など、改修工事の効果
清掃費	0		0	0	0	施設保全費-建物管理費に計上
修繕費	2,000,000		2,000,000	1,092,300	907,700	小破修繕費。再開館に向けた修繕は、下記「移転費用(引越し・整備費等)」を財源として989,670円を執行(計2,081,970円)
保安警備費	11,212,000		11,212,000	9,815,081	1,396,919	常駐警備委託
機械警備費	220,000		220,000	220,000	0	機械警備委託
設備保全費	116,678,000	0	116,678,000	115,700,342	977,658	
電気設備保守	0		0	0	0	改修工事期間中のため
建物管理費	76,648,000		76,648,000	75,171,910	1,476,090	ホール統括・設備・清掃委託
舞台管理費	32,246,000		32,246,000	32,301,456	△55,456	舞台技術委託、舞台・音響・照明設備保守点検
その他委託費	3,478,000		3,478,000	4,080,076	△602,076	クイーンズスクエア横浜BAシステム保守など
その他保全費	4,306,000		4,306,000	4,146,900	159,100	楽器類(ピアノ、パイプオルガン)保守点検費用
共益費	22,366,000		22,366,000	22,259,479	106,521	クイーンズスクエア横浜管理組合費、各種会費
公租公課	26,375,000	0	26,375,000	27,341,060	△966,060	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	26,264,000		26,264,000	27,096,700	△832,700	
印紙税	80,000		80,000	199,100	△119,100	委託契約、商標登録/登記事項証明書の申請等
その他(電波使用料など)	31,000		31,000	45,260	△14,260	電波使用料、法人税など
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	59,928,000	0	59,928,000	59,928,000	0	
本部分	59,928,000		59,928,000	59,928,000	0	
当該施設分	0		0	0	0	
事務所移転関連経費	32,726,000	0	32,726,000	32,851,961	△125,961	
移転費用(引越し・整備費等)	29,901,000		29,901,000	24,370,861	5,530,139	
事務所管理費用(賃借料、管理費、光熱水費)	2,825,000		2,825,000	8,481,100	△5,656,100	仮事務所(PLOT 48)賃借料、管理委託費等
二一ズ対応費				0	0	
支出合計	822,370,000	0	822,370,000	791,547,513	30,822,487	
差引	0	0	0	17,997,926	△17,997,926	